

あおぞら

発行:愛知県被災者支援センター
住所:名古屋市東区泉 1-13-34
名建協 2階
TEL:052-971-2030
FAX:052-971-2050
開館:月曜～金曜 10時～17時



私の丹精込めた「作品」です



「革工芸のしおりをいろいろ作って、皆さんにさしあげました！」(Aさん)



ミニトマトの収穫!(Kさん)



中国の種のきゅうり(同)

募集中



- ☆『あおぞら』編集委員: 「私のお気に入りのスポット」や「私のおすすめの一冊」、「我が家の自慢のレシピ」等の取材・投稿
- ☆新聞スクラップのボランティア: 定期便に同封の東北の地元新聞(『河北新報』・『福島民報』)のスクラップ作業
- ☆表紙の絵・写真: お子さんの絵、または趣味の写真など

愛知県・新型コロナウイルス感染症「県民相談総合窓口」
(コールセンター)
電話: 052-954-7453 (9:00～17:00 土・日・祝も毎日)

新型コロナウイルス感染症が心配な時の看護師による一般相談
窓口 愛知県感染症対策局感染症対策課
電話: 052-954-6272 (9:00～17:30 土・日・祝も毎日)

《もくじ》

- P1. 表紙写真: 私の「作品」
- P2. 濱田農園農作業体験交流会
- P3. オンライン・あおぞらカフェ
「ハーブのお香を楽しもう」
- P4. ユース世代は今～「18歳で成人」
- P5. ウクライナ避難者支援ネットワーク「学生との交流」
- P6. 寄稿/「平和映画祭」を終えて、①さっちゃんのレシピ
- P7. 「おすすめの一冊」①、②
- P8 イベント情報、②のりこさんのレシピ、編集後記

濱田農園農作業体験交流会「玉ねぎ収穫」2022.6.5(日) 9:30～15:00



濱田農園農作業体験交流会の始まりは、東浦町の農園、柿畑の緑の涼しい木陰でそれぞれ自己紹介。常連さんに加えて、初参加の方も多くいらっしゃいました。まず、作業の予定と手順について濱田さんの説明があり、グループに分かれて作業に取り掛かりました。

今回の参加者は7世帯13人(内子ども3人)。それぞれの持ち場で玉ねぎ収穫、じゃがいも掘りをしました。ビニールマルチを張った人もいました。慣れない作業も頑張りました！



昼食は、柿畑の涼しい木陰で、めいめい距離を取りながら、焼きおにぎり、炊き込みご飯、手づくりパンにゴロゴロじゃがいもスープをいただきました。午後の作業に力が出ました！



農作業を終えて、記念撮影に一瞬マスク外して、「お疲れ様でした!!」

本日植えたサツマイモの苗が伸びて、秋のサツマイモ掘りが楽しみです！



オンライン・あおぞらカフェ 「ハーブのお香を楽しもう！」

お香の種類

- ① 火をつけるタイプ
 - 直接火をつけ、香炉や香皿、香立てに置いて使うお香。スティック、うずまき、コーンなどの形状があります。もっとも手軽に使えるお香と言えます。
- ② 加熱するタイプ
 - 香を直接燃やすのではなく、炭で温めた灰の上に置いて、気化した香りを漂わせます。練り香、印香のほか刻んだ香木をそのまま用いる場合もあります。
- ③ 常温で香るタイプ
 - 香原料を細かく刻んで調合したものを、布や紙に包んで楽しめます。匂袋、文香、掛香、割梨勒、手につけて使う塗香など。

今回のあおぞらカフェは、オンラインで「ハーブのお香を楽しもう！」という、講師・鈴木ユカリさん（天白区在住 避難元:富岡町 共に笑う主宰）のちょっと目先が変わった企画でした。

参加者は、5世帯7名でした。

参加申込者に事前にお送りしていた、備長炭香粉に平等院鳳凰堂塗香(ずこう:手を清める)とホワイトセージ、ラベンダーを加えて乳鉢で丁寧に粉末にした、鈴木さんオリジナルの材料を使って、各自でお香を練り固めました。4個に形作りしましたが、その間もいい香りが漂い、「和の香り」を楽しめました。10日間ほど乾燥させると出来上がりで、「完成が楽しみ！」という感想が聞かれました。

<参加者のアンケートより>

- お香・アロマが楽しく学べた。家族と参加出来るので楽しかったです。”ズーム“の使い方が未だ分からないので使い方講座・兼になっていて、有難いです。
- 初めてのお香の作り方を学んで、とても良いとおもいました。初めて嗅ぐ香りで癒されました。
- オンラインあおぞらカフェは、離れていても皆さんに会えて、近況なども話せるので嬉しいです。

今回は、私が好きなアロマとお香がコラボできると知って、とてもワクワクしていました。しかも自分で簡単に手作

- りできて、つくりながら香りで癒やされて、美味しいお茶とお菓子もいただきながらで、贅沢な時間が過ごせました。いつも新しい体験をさせてもらって、ユカリさんに感謝しています。次回の企画もとても楽しみにしています。
- オンラインのためわかりづらい部分があった。お香の形成がもぐさの形になり、以前の動物病院での治療を思い出し、懐かしくもありました。頭の中が軽くなり、リフレッシュできました。



ユース世代は今～『18歳で成人』への想い ②

『18歳で成人』(2022年4月1日から)となったことについて、前号に続いて避難者のユース世代の人にご意見等をお聞きしました。今回は、さいとうえなさん(名古屋大学大学院在籍中)です。

★『18歳で成人』になることに関して考えるとき、「成人イコール大人と言えるのかな?」というありがちな疑問を抱く。18歳というと、高校を卒業する年齢だ。ここから大学や専門学校に行く人もいれば、社会に出て働き始める人もいる。高校に進学していない人であれば、もう学生というカテゴリーではなくなって、早くも三年が経過している年頃である。

★成人になるということは、選挙権を持つことと直結する。私は選挙の度、未だにドキドキしてしまう。「社会を変える」みたいなことは難しくて遠くの存在に思えるけれど、自分にもある権利を使うことで、それが本当に「少しでも変化する」と思うとドキドキする。

★私が芸術を好きになって、その世界に携わりたいと思いはじめたのは、18歳の時だ。自分の世界を見る目が変わったのも、自分を取り巻く環境が変わったのも、芸術に関心を抱いてからだったように思う。大学に入学して、色んな人に出会ったり、多くのものを見たことで生まれた関心の矛先の変化は、確実に自分の人生にとって大きな分

岐だった。

★18歳という多くの人が環境の変化を迎える年に成人になるということは、社会に対する向き合い方を少し変容させるのではないだろうか。投票前に、「自分の生活において、自分が大事にしたいことについて考える機会を持つ」というのは、大きな意味のあることのような気がする。

★それでもやはり18歳という年齢は、子どもと大人の境界の中で、子どもに寄っている年齢だと私は思う。成人になって私もまだ数年しか経っていないが、これから『18歳で成人』になっていく子達をどうやって守って、そして一緒に社会で暮らしていけばいいかを考えるのは、先に成人した私たちの義務だろう。

★「成人することに対して重荷は感じなくて良いんじゃないか」と私は思う。成人していない子達が、社会にこれまで以上に参加する権利を有することができることを、喜びを持って受け入れられるように、「私たち大人は何ができるか」を考えられたらいいと感じる。(避難元:宮城県石巻市)



*左の「6ole 展」@rusu(東京)は、えなさんがキュレーター(企画・構成・運営等)・作家として開催されました。



注) 6人の作家が一人一人、ぐるぐるとジェンダーロール(「性別によって社会的に固定的な役割を期待されること」)について考えてみて生まれた作品を展示する展覧会です。各々異なる視点で思考しているため、何か一つの答えが隠されているわけではありません。我々はその答えを持っていないし、そしてこの世の誰も持ってないかもしれません。作品との出会いから、あなたの中で、ジェンダーに対する小さな渦がぐるぐると生まれることが展示の目的です(さいとうえな)。

ウクライナからの避難者の支援

避難者と学生たちが交流（名古屋外国語大学で）

非常勤講師をしている 2 つの大学で、ウクライナから避難されている若い世代の方をお招きして、学生との交流の時間をもちました。

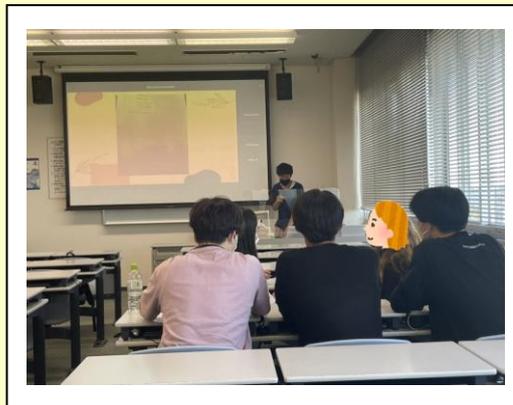
学生たちは自主企画したキャンパスツアーで図書館や学食を見て周り、その合間にスマートフォンで画像を見せあったり、自動翻訳機能を駆使してゲームやアニメの話で盛り上がっていました。ゲームが好きな学生の中には、憧れのゲーマーがウクライナ出身であるということから、いつかウクライナに行ってみたいと思っていたところ、戦争が起き、驚きとともに悲しく思っていると話しました。

多くの学生が、大変な状況の中で避難してこれていることと、現在起きていることについて心を痛めながらも、日本で美しい景色、おいしい食べ物、楽しい経験をしてもらえたらと話しました。

大学の学生たちは、ウクライナ出身の人と会うのも話をするのも初めてだったと言い、授業の最後にこんなメッセージを語りました。

「少しでも心が安らぎますようにお祈りしています。困った時は、いつでも頼ってください。」

「実際に戦争を目の当たりにした経験は、私には理解できないほど苦しいことだと思います。だか



らこそ今起きている戦争を絶対に忘れてはならないし、支援できることがあれば、積極的に取り組みたいと思います。」

「もっといろいろな話をしてみたかったです。今はお辛いと思いますが、世界が平和になることを心から願っています。」



ある日、自分の命を守るために自国を離れなければならなくなった同世代の人との交流から、戦争が一人の人の人生をどう変えてしまったのか、なぜ平和が大切なのかを考える機会になったようです。

（名古屋外国語大学他非常勤講師

神田 すみれ）



投稿//「第16回 あいち平和映画祭」を終えて

毎年の平和映画祭の企画に、避難者の方々のご招待、交流コーナーを設置して近況を伺ったりする機会をいただけてきました。代表の岩田さんにその想いを寄稿していただきました。

あいち平和映画祭 代表・岩田和憲

時おり夕立が雨をもたらす6月25日(土)、ウィルあいちホールで開催しました。会場はコロナ禍以降、客席に空白が目立ちます。しかし私たちはお越しいただいたお客様を、精いっぱいのおもてなしをしました。

私たちは「映画を通して平和を考えよう」と、2005年に実行委員会を立ち上げました。そしてどんな映画を観ていただくのかを議論し、決定してゆきます。もちろん簡単に決まりません。ケンケンガクガク…

そんな中、2011年の「東日本大震災」に遭遇しました。その日のニュースで事の重大さを知り、啞然としました。「阪神淡路大震災」の折、関西の仲間は仮設住宅へフィルムと映写機を抱えて向かいました。「男はつらいよ」シリーズを観てもらおうと。それは災害の中でも笑顔を忘れないために。このことは心から離れませんでした。

一日の仕事を終え、一家だんらんの食卓を囲む。仲間とくだらない話で笑い転げる。そして古い映画に感動する。その中で明日の希望を見つける。何気ない日常こそ平和ではないでしょうか。

そんな日常の中に、平和映画祭があればと思います。皆さん、どうぞ見たい映画をお知らせください。

これまでの上映作品：「グレタ 一人ぼっちの挑戦」・「きまじめ楽隊のぼんやり戦争」(2022)、「あの日のオルガン」・「ちむぐりさ 菜の花沖縄日記」(2021)、コロナでお休み(2020)



レシピ・その① さっちゃんのレシピ「ショウガ風味のういろう」

材料

小麦粉：100g 砂糖：50g 水：300cc ショウガ：20g(すりおろして、しぼり汁を使う)

作り方

- ① 小麦粉はふるっておく
- ② 材料を全部混ぜる(ダマがなくなるまで)
- ③ 耐熱容器に入れ、電子レンジで7~10分加熱する

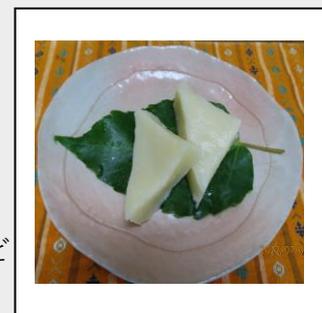
電子レンジのワット数や耐熱容器のサイズによって加熱時間が

違うので、最初に7分加熱して生の場合は様子を見ながら加熱する

※出来立ての熱々を食べるのもよし、粗熱が取れてから冷蔵庫で30分ほど冷やして食べるのもよし。

※ショウガの代わりに、大きじ1の抹茶を入れると抹茶味のういろうに、秋には柚子やスダチなどの柑橘類の果汁を入れたり、白砂糖を黒糖変えると黒糖味に。

※15分くらいで完成するので、夏休みにお子さんと一緒に楽しんで作ってみませんか!



【イベント情報】*開催・内容等が変更になることがあります。詳しくはチラシでご確認ください。

開催日	イベント名	内容（主催など）	会場
8/11 (祝日・山の日) 10:30～12:00	あおぞらカフェ「さらさらミントパウダーを作しましょう」	子どもと一緒に夏休み企画～日焼け・あせも対策～「ミントパウダー」を作ります。 先着8名 主催:あおぞらカフェ実行委員会	オンライン

レシピ・その② 手軽で簡単! のりこさんのレシピ

今の時期は、とうもろこし、枝豆、ソラマメなど美味しいですね。また梅干しも漬け頃ですよ！我が家ではお米は8分づき、時々玄米ご飯も混ぜたりして、ヘルシーにしています。今回は特にそれにこだわらず、普段使いでいいですよ。

私事で恐縮ですが、私の住んでいる地域の、月1回のマルシェで、焼きおにぎりを出店しています。

今回はとうもろこしですが、枝豆やソラマメ、梅干しと一緒に炊いても美味しいです。旬の野菜は沢山あるので、いろんなものをアレンジしてみてください。



【とうもろこしご飯】

旬の夏野菜で安心、簡単、ヘルシー炊き込みごはん!

<材料> 米:3合、とうもろこし:中2～3本、塩:
お好みで

<作り方>

- ① お米3合を、炊く1時間くらい前にあらかじめ研ぎ、3合分の水で浸す
- ② とうもろこしは、包丁で実を削り取る。芯も使う。
- ③ ①に②ととうもろこしの芯もそのまま入れ、塩をお好みで入れて炊く

※素材の味を活かすため、出汁は使っていない。もちろん使っても美味しい。シーチキンも一緒にに入れて炊くと、お子様向けにも良い。

【焼きおにぎり】

炊き込みご飯が余ったら、焼きおにぎりにしても!

ごま油を、中さじ1くらいをフライパンで熱し、中火で裏表各3分くらい焼く
(焦げすぎないように注意!ごま油の風味が素材とマッチして美味しい)

《編集後記》

- ・(6月30日 真夏日続く)明日からは 年の後半 7月に 本来梅雨の 真っ只中が (7月3日 台風の雨、終日降る)よく降った 一日雨で 梅雨の様 台風4号 花は喜び (T.H)
- ・私学サマーフェスティバルで私の「北朝鮮からの引き揚げ体験」を報告した後、参加者と一緒に「ウクライナの現状と避難者の気持ちを考え、何が出来るかを考えよう」という機会をいただきました。これが、今の私にやれる事です。(T.S)
- ・庭の白いホタルブクロの花が終わり、今薄いピンクと黄色のグラジオラスが咲いてきました。ねむの木の花の淡いピンクの花もまだ咲いています。これらはみな、夫が好きだった花。さあ、君に手向けましょう(短い梅雨が明けて、酷暑到来!)(T.K)